

中央教育審議会特別部会 基本問題小委員会資料

埼玉教員養成セミナーの取組と特別選考の現状

令和4年1月31日(月)

埼玉県教育局市町村支援部 石井 宏明

I 埼玉教員養成セミナーの概要（平成18年度～実施）

1 趣旨

埼玉県公立小学校教員を強く希望する大学3年生等が、大学卒業後、本県の新採用教員となり、豊かな人間性と実践的な指導力を持ち、将来、埼玉の教育を担う教員として活躍できるための、資質・能力を育成する。

2 内容等

- 【実施期間】 1月から9月までの9か月間
- 【活動の種類】 「学校体験実習」「講演・講義・演習」「体験活動」の3つのプログラム(下表参照)
- 【受講生及び人員】 埼玉県と連携し、小学校教諭1種免許状取得認定を受けている大学(連携24大学)3年生等の中から50名程度
- 【選抜の方法】 論文試験及び集団討論試験を実施し、総合的に勘案して選考する。

学校体験実習(43日間)

子供と積極的にかかわり、学級経営や授業実践を通して、実践的な指導力を学び、より深い教育の意義、やりがい学ぶ。

【実施場所】 県教育委員会で指定した
県内市町村立学校

【内 容】

- <1月～3月>・学校や子供の様子を知る
・授業参観や学校行事を体験する
- <4月～5月>・学級開き、学級経営を体験する
・授業に挑戦
- <6月～9月>・学級運営に積極的に関わる
※2日程度の異校種体験(中学校)を実施する

講演・講義・演習(13日間)

専門家による講演や講義・演習を通して、小学校教員としての資質の向上、指導理念や指導方法・技術の習得を図り、幅広い視野と専門性を身に付ける。

【実施場所】 県立総合教育センターほか

【講義・演習】

- ・国語・算数の授業づくり
- ・児童理解と効果的な生徒指導
- ・小学校におけるこれからの英語教育について
- ・子供の人間関係を深める学級づくり

【課題研究】

5人程度でグループを編成し、9か月間を通してテーマに基づいた研究に取り組み、発表する

体験活動(3日間程度)

小学校教員として役立つ体験活動等を行い、豊かな人間性や社会性を醸成する。

【実施場所】 県立の社会教育施設

【実施期間】 7～8月の間で3日間程度

【内 容】

- ・子供キャンプ等でのボランティア体験
- ・宿泊学習のサポート など

Ⅱ 埼玉教員養成セミナーにおける大学生の養成について

1 専任講師による指導

- セミナー受講生4～5名を一人の専任講師(元校長経験者)が担当する。
- 学校体験実習では、セミナー受講生の活動の様子 of 把握、校長、教頭、所属学級担任等から活動状況の把握等を行い、必要に応じて指導助言する。
- セミナー受講生が授業実践を行う場合、教材研究の進め方や具体的な指導の在り方について指導助言を行う。
- 講演、講義・演習にセミナー受講生とともに参加し、活動の支援及び必要に応じて指導助言する。

専任講師による評価

左記の指導を踏まえて
①1～3月、②4・5月、
③6・7月の3回に分けて
評価する。

2 体験実習校における管理職による指導

- セミナー受講生が体験実習校において、チームティーチングによる授業実習や学級担任のもとでの授業実習、授業外の指導場面、学級担任の助手としての学級事務処理等の様子を、授業参観等を通して把握し、必要に応じて指導助言する。
- セミナー受講生が記録する「学校体験実習の記録」等を確認し、必要に応じて指導助言する。

校長による評価

左記の指導を踏まえて
①1～3月、②4・5月、
③6・7月の3回に分けて
評価する。

3 所属学級担任による指導

- セミナー受講生が所属する学級担任は、日常的な関わりの中で、個々の行為(児童とのかかわり、指導の在り方、指導方法等)について、具体的に指導する。
- 4月以降は、月2回程度の授業実践の機会を設定し、授業実習を実施するため、指導計画等を作成する際の指導も併せて行う。

埼玉県教員採用選考
試験特別選考の資料
として活用する。

Ⅲ 埼玉教員養成セミナー特別選考について

1 選考試験の対象となる志願区分・受験資格

小学校等教員 埼玉県公立小学校採用選考試験の受験資格を満たし、且つ教員養成セミナー受講生で受講修了見込みのもの

2 選考試験内容（1次選考は「免除」 2次選考から）

- 面接試験 個人面接
集団討論
- 論文試験 教育課題等に関する内容についての論述

＜上記の試験内容は、1次選考合格者と同じ内容＞

3 選考方針

論文試験、面接試験の成績に加えて、埼玉教員養成セミナーの受講実績等の報告を勘案して総合的に選考する。

4 過去5年間の採用状況

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
セミナー生	50名	50名	50名	50名	50名
採用数	50名	50名	50名	50名	49名

1 成果

- 教員養成セミナー第1期生から第14期生までの894名が本県の新採用教員になっている。
- 令和3年11月現在、多くの者が、学校の中核として学年主任や生徒指導主任などの省令主任を命課され活躍している。また、初期の教員養成セミナー受講生の中には、管理職選考試験に合格し、主幹教諭や行政機関の指導主事として活躍している者もいる。
- 9ヶ月間の教員養成セミナーを通して、受講生の実践的な指導力の育成が図られるとともに、採用後も、受講生が互いに情報交換したり、相談したりしながら、教育活動にあたっている。
- 教員養成セミナーを通して、大学との連携が一層深まり、教員の養成・採用・研修について意見交換することができている。

2 課題

- 教員の大量採用や教員採用選考の志願倍率の低下に対する教員養成セミナーの在り方
 - ・教員養成セミナーを志願する大学生の確保
 - ・様々な課題に対応する実践的な指導力の育成を図るための内容の充実